

奈良市北東部に位置する田原、柳生、大柳生、東里、狭川地区には、手つかずの自然や大切に守られてきた伝統があり、奈良の市街とは全く異なった、もう一つの奈良の姿を見ることができます。

「す・とうぶ」とは、「素」の「東部」。私たち東部地域おこし協力隊は、親しみを込めてこの5つの地域を「す・とうぶ」と呼んでいます。市街地から、車でほんの20~30分の所にある別世界へ、ぜひ訪ねに来てください。

投稿写真募集

よかったら、「す・とうぶ 春の八景」で撮影した写真を、「#すとうぶ八景春」または「#sutohbu8s」でinstagramに投稿してください。また、プリントした写真(20cm×20cmの正方形に切り取ったもの)を直接、下記の奈良市東部出張所に送っていただいても結構です。写真の裏には、住所、氏名、撮影地、撮影日をご記入ください(5月30日締切、写真は返却できません)。作品を展示できるようにしたいと思います。展示に関しては、次号でお知らせします。

Facebook E-mail



取材・写真協力

東敬朗、奥西正博、田中快旺、坂本佳弘、中尾義永、福井佐和、黒田篤史(敬称略)

取材協力

北良夫、東浦和男、東功、窪田弘、柳生観光協会、田原公民館(敬称略)

「す・とうぶ 2018年春号」2018年3月発行

発行 ■奈良市東部地域おこし協力隊
編集 ■大塚裕昌

Facebook ■<https://www.facebook.com/narachiikiokoshi/>
blog ■<http://narachiikiokoshi.blog.fc2.com/>
E-mail ■narachiikiokoshi@gmail.com
住所 ■〒630-1242 奈良市大柳生町 4735
Tel ■0742-93-0001 (奈良市東部出張所)



6 水越神社のシラカシ林とスギの大木
奈良市天然記念物の社叢シラカシ林と巨大なスギの新緑に、朱の社殿が鮮やかなコントラストを生み出しています。



7 田原の茶畑(河瀬直美監督「殞(もがり)の森」撮影地)
道を挟んだ2つの茶畑が、美しい模様を作っています。丘の上から下に向かっていく畝が、田原の茶畑の特徴です。



8 田原の茶畑
山間に入っていくと、見事な茶畑が広がっています。なだらかな茶畑の丘に囲まれた新緑の空間です。

*茶畑の位置を示したマップを日笠ワークス『水仙月』に用意しました。

淡紅と新緑

す・とうぶ

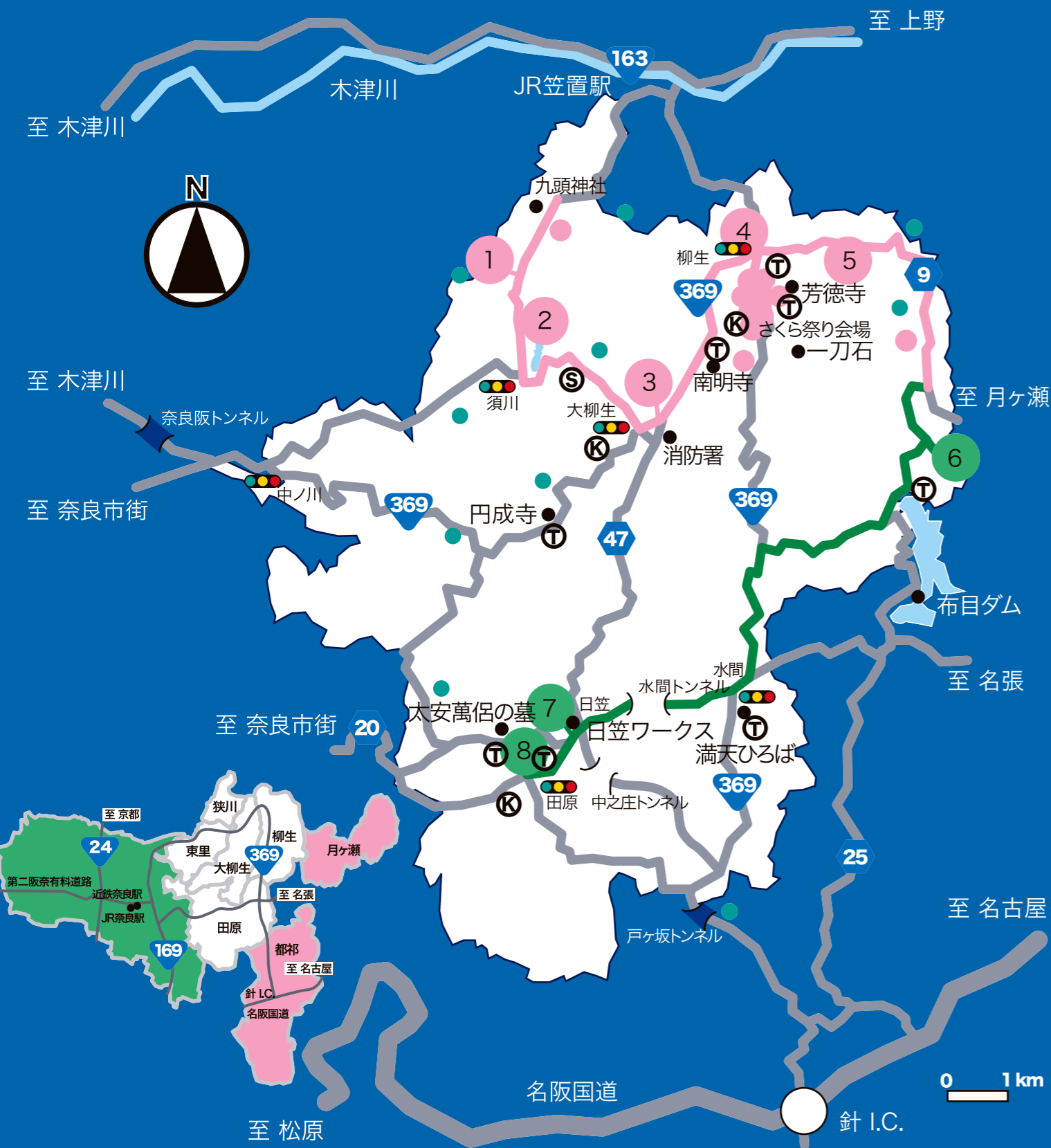
春の八景

2018年 春

奈良市東部の素の姿、地域の美しい風景をご紹介します。

■次号 夏号は、6月に発行予定です。

す・とらふ 春の八景



- 桜ロード(細い線は徒歩)
- 新緑ロード(細い線は徒歩)
- その他 形のよい桜
- ゴルフ場
- S 奈良市役所東部出張所(8:30~17:15 土・日・祝 休)
- K 公民館(9:00~17:00 月 休)
- T トイレ



1 狭川両町の桜並木
狭川地区両町にある桜並木で、須川ダムから水道を引くための配管が地下にあります。「両」バス停から北へ坂を上がります。



4 柳生やぐり橋の桜
打滝川に架かる橋のたもとの枝振りのよい桜。旧柳生藩陣屋跡や芳徳寺周辺にも、見事な桜がそろうています。



2 須川ダムの桜並木
ダム池を囲むように続く大きな桜並木。橋の上からの眺めがおすすめです。

桜とお茶と水の話
奈良市の水源の布目ダムと須川ダムは、この東部地域にあり、2本の川の水を溜めています。桜並木は、これらの川の堤に沿って多くあります。堤に桜を植え、花見を誘うことで、地盤を踏み固め強くするという、昔の人の知恵なのです。
また、この地域は、水源を持ちながら、耕作地が水面より高いため、水利を得るために苦勞の多かった土地で、近世・近代と水路を確保しようと努力してきた跡も残っています。
一方、傾斜の大きな高地では、茶の栽培が盛んに行われています。昔は、養蚕や綿の生産も行われていた所もあるようですが、それも水利のない土地で生活していく知恵によるものです。
今回紹介する桜や茶畑、それに水源の川の畔にある水越神社を巡りながら、そんなことを少し考えていただけたら嬉しいです。

柳生さくら祭り
- 柳生は桜で地域の活性化を考えています -
2018年4月7日(土) - 8日(日) 旧柳生藩陣屋跡
問合せ先：柳生観光協会(0742-94-0002)



3 大柳生の桜並木
童謡に出てきそうなどかな風景です。消防署の前の橋が目印になります。



5 興ヶ原(おくがはら)の桜並木
護岸整備されていない小川に沿って桜並木が続いています。橋の上からの眺めがおすすめです。

*見学・撮影の際には、マナーを守って、私有地には入らないようにしてください。またイノシシよけの柵は、電気が通っていて危険です。足下が悪い場所もあるので、十分に注意してください。